

1. 件名: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所  
の核燃料物質使用変更許可申請に係る面談

2. 日時: 令和2年12月7日(月) 13時30分～15時30分

3. 場所: 原子力規制庁10階南会議室※TV会議により実施

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

本多主任安全審査官、真田係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料技術開発センター

品質保証課 技術主幹 他22名

#### 5. 要旨

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」という。)から、  
令和2年11月20日付けで申請のあった核燃料サイクル工学研究所における核  
燃料物質使用変更許可申請について、資料に基づき説明を受けた。

(2) 原子力規制庁から、以下の点を伝えた。

○ 残存核燃料物質封入棒集合体のプルトニウム燃料第三開発室への受入れに  
ついて管理区域境界の線量評価結果は変更なしとしているが、その理由につ  
いて説明すること。

○ 新設する集合体ホルダ固定架台の耐震設計方針について説明すること。

○ 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所内で採取した燃  
料デブリ(以下「1F燃料デブリ」という。)を用いた分析について、これまで大洗  
研究センター(南地区)、原子力科学研究所(以下「各拠点」という。)におい  
ても同様な申請があったが、使用の方法等が各拠点により異なることから、これ  
らの整合性について説明すること。

(3) 原子力機構から、本日の面談を踏まえ、今後対応していく旨の発言があった。

#### 6. 提出資料

・核燃料物質使用変更許可申請書の変更概要

・プルトニウム燃料第二開発室に係る核燃料物質使用施設変更許可申請の概要

- ・廃油保管庫に保管中の廃油を水蒸気改質処理試験の試料として供試するための核燃料物質使用変更許可申請
- ・高レベル放射性物質研究施設(CPF)の核燃料物質使用変更許可申請について